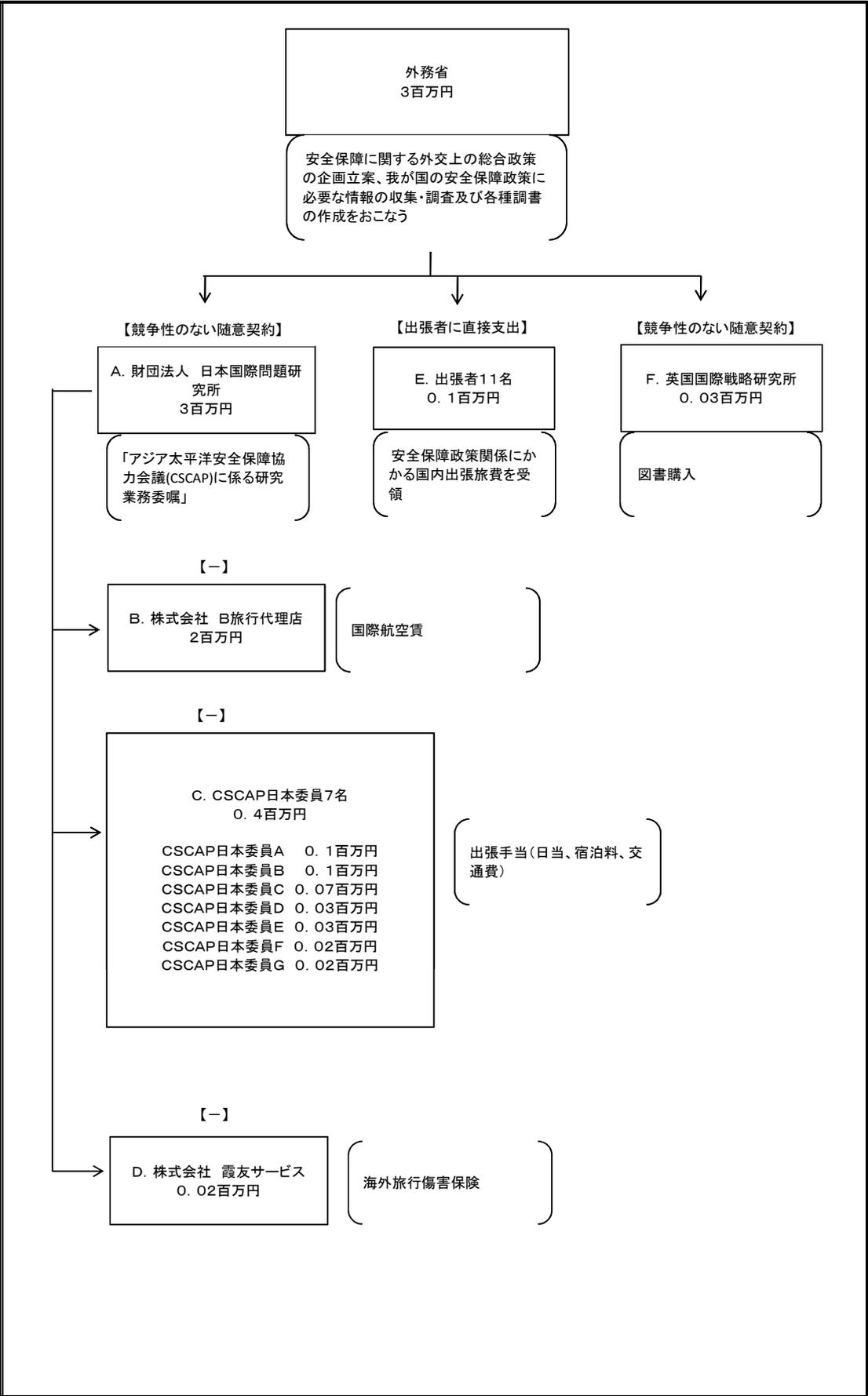


平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	安全保障政策に関する事務運営費		担当部局庁	総合外交政策局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度			担当課室	安全保障政策課		課長 伊澤 修			
会計区分	一般会計		施策名	II-1 国際の平和と安定に対する取組					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第一項第一号イ		関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国を取り巻くアジア太平洋地域は、冷戦の終焉後も依然として不透明・不確定要素が残されている。このような安全保障環境の中、我が国として民間レベル(トラックII)も含め積極的に安全保障問題に取り組むことで我が国の安全確保と、地域の平和と安定に貢献することが出来る。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	アジア太平洋安全保障協力会議(CSCAP)は、アジア太平洋地域の域内諸国の信頼醸成及び安全保障協力の枠組みを提供することを目的として、1994年6月に設立された民間レベル(トラックII)のフォーラムであり、域内諸国間の相互理解と信頼醸成に貢献している。CSCAP日本委員会である日本国際問題研究所にアジア太平洋における多国間安全保障協力の促進に関する調査研究を委託し、日本の知的資源を動員し、CSCAPの活動に積極的に取り組むことを通じて得られる成果物は、具体的な安全保障政策の企画立案に大きく寄与することが期待できる。また、CSCAPは、ARFを始めとする政府レベルの活動に対して政策を提言することを活動の目的としてきており、日本委員会によるこのような活動を通じてCSCAPのARFを補完する役割がより一層強化されることになる。								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	4	4	4	6	4		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-	-		
		計	4	4	4	6	4		
	執行額		5	4	3				
執行率(%)		126.7	86.6	96.0					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)		
	【成果目標】アジア太平洋地域の信頼醸成、ARFをはじめとする政府レベルの活動に対する政策提言		成果実績	主にARF-ISG(課長級会合)の場において、CSCAPの年間活動報告の場が設けられており、ARFの活動に対する政策提言がなされている。	主にARF-ISG(課長級会合)の場において、CSCAPの年間活動報告の場が設けられており、ARFの活動に対する政策提言がなされている。	主にARF-ISG(課長級会合)の場において、CSCAPの年間活動報告の場が設けられており、ARFの活動に対する政策提言がなされている。			
			達成度	%	100	100	100		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込		
	政策提言のための中心的役割を担うCSCAP作業グループ、CSCAPの意思決定の場である国際運営委員会、及びCSCAP総会への出席、出張報告作成		活動実績(当初見込み)	3つのCSCAP作業グループ及び国際運営委員会に日本国際問題研究所より参加し出張報告を作成	6つのCSCAP作業グループ、国際運営委員会、CSCAP総会に日本国際問題研究所より参加し出張報告を作成	5つのCSCAP作業グループ、国際運営委員会に日本国際問題研究所より参加し出張報告を作成	-		
							(日本国際問題研究所として出席すべき全ての作業グループへの出席及び報告書作成)		
単位当たりコスト			算出根拠						
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	研究謝金	3,411	3,496						
	職員旅費	205	276						
	消耗品代	2,127	67						
	計	5,743	3,839						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>CSCAPIは、安全保障に関する諸問題の研究・調査活動を通じて、ARFを始めとする政府レベルの活動に対して政策を提言することを活動の目的としている。政府として、CSCAPがARFに対して行う政策提言の内容や背景を詳細に承知しておくことは、ARFに係る政策決定を行う上で極めて重要であり、また、ARFにおいて、CSCAPとの連携は一つの方向性として打ち出されていることから、我が国としてもCSCAPでの議論をしっかりフォローする必要はあり、引き続き事業の継続が必要である。なお、ARFとCSCAPの連携をよりはかるべく、平成23年度については、実質的な政策に関する協議が行われている作業グループの議論をより多くフォローできるよう、予算の積算の見直しを行ったところである。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	—		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



A.財団法人 日本国際問題研究所			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
航空賃	株式会社 旅行代理店	2			
計		2	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本国際問題研究所	アジア太平洋安全保障協力会議(CSCAP)に係る研究業務	0.5	—	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)B旅行代理店	国際航空券手配	2	—	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	CSCAP日本委員A	CSCAP作業部会の出席に伴う出張手当を受領	0.1	—	—
2	CSCAP日本委員B	CSCAP作業部会の出席に伴う出張手当を受領	0.1	—	—
3	CSCAP日本委員C	CSCAP作業部会の出席に伴う出張手当を受領	0.07	—	—
4	CSCAP日本委員D	CSCAP作業部会の出席に伴う出張手当を受領	0.03	—	—
5	CSCAP日本委員E	CSCAP作業部会の出席に伴う出張手当を受領	0.03	—	—
6	CSCAP日本委員F	CSCAP作業部会の出席に伴う出張手当を受領	0.02	—	—
7	CSCAP日本委員G	CSCAP作業部会の出席に伴う出張手当を受領	0.02	—	—

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社 霞友サービス	海外旅行傷害保険	0.02	—	—

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	安全保障政策関係にかかる国内出張旅費を受領	0.1	—	—
2	出張者B	安全保障政策関係にかかる国内出張旅費を受領	0.01	—	—
3	出張者C	安全保障政策関係にかかる国内出張旅費を受領	0.01	—	—
4	出張者D	安全保障政策関係にかかる国内出張旅費を受領	0.01	—	—
5	出張者E	安全保障政策関係にかかる国内出張旅費を受領	0.01	—	—
6	出張者F	安全保障政策関係にかかる国内出張旅費を受領	0.00	—	—
7	出張者G	安全保障政策関係にかかる国内出張旅費を受領	0.00	—	—
8	出張者H	安全保障政策関係にかかる国内出張旅費を受領	0.00	—	—
9	出張者I	安全保障政策関係にかかる国内出張旅費を受領	0.00	—	—
10	出張者J	安全保障政策関係にかかる国内出張旅費を受領	0.00	—	—

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	英国国際戦略研究所	図書購入	0.03	—	—